

アメリカ地質調査所（United States Geological Survey; USGS）は、アメリカ合衆国内務省の傘下にある研究機関である。1879年に設立され、水文学、生物学、地質学、地理学の4つの主要な学問分野について、合衆国領内を中心に、自然景観、天然資源、および同国を脅かし得るナチュラル・ハザード（自然現象）を対象とする調査・研究を行っており、同国の地形図および地質図の作成業務も担当している。定期的に調査レポートを公開する。

## <USGS レポート>

### アメリカ及び世界のりん鉱石採掘量、資源量と消費量（2026）

2026年2月発表

2026年2月翻訳

#### 一、アメリカ国内のりん鉱石採掘量と消費量

2025年アメリカ国内では5社が4州に10ヶ所のりん鉱山でりん鉱石を採掘している。採掘量が約2,000万トン、鉱山出荷価格では約19億ドルに相当する。りん鉱石はフロリダ州、アイダホ州、ノースカロライナ州とユタ州のりん鉱山から採掘された。

りん鉱石とは、りん酸または黄燐の生産に適する選鉱された一定以上の $P_2O_5$ を含有する鉱物を指す。アメリカでは採掘されたりん鉱石の95%以上が湿式りん酸と過りん酸の製造に使用される。製造された湿式りん酸は主に粒状または液状のりん酸アンモニウム肥料や動物飼料用添加物の原料として使われる。なお、湿式りん酸の約25%は粒状DAPとMAP、精製りん酸およびその他のりん酸肥料製品の形で輸出される。残りのりん鉱石は黄燐の製造に使用される。黄燐は工業用りん酸塩化合物、主にグリホサート系除草剤の原料となる。

表1. 2020～2024年アメリカのりん鉱石採掘量、輸入・輸出量、使用量などのデータ

項目	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年*e
採掘量（万トン）	2,160	1,980	1,960	1,940	2,000
生産者による販売量または使用量（万トン）	2,190	1,980	2,000	1,910	1,800
輸入量（万トン）	246	250	259	339	340
見かけの消費量（万トン）*1	2,440	2,230	2,260	2,250	2,100
鉱石出荷平均価格(ドル/トン)*2	83	99	101	96	100
年末在庫量（万トン）	1,070	1,060	955	874	840
雇用数（鉱山と選鉱）（人）	2,000	1,900	2,000	2,000	1,900
見かけの消費量に占める輸入の割合（%）*3	11	12	16	18	16

りん鉱石のリサイクル：なし

輸入元 (2021~2024 年) : ペルー99%超、その他 1%未満。

輸入関税：	項目	税番	関税率
	粉碎していないもの	2510.10000	無税
	粉碎したもの	2510.20000	無税

減耗控除制度： 14% (国内産と輸入品とも)

政府備蓄： 無し

## 二、 特記事項

2025 年のアメリカ国内りん鉱石の消費量はりん酸生産量の減少により、2024 年より 7% 減少すると推定される。フロリダ州の生産者は、りん鉱石資源量の減少と鉱床の P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 含有量の低下に対処するため、りん鉱石生産量は過去数年間でずっと年間約 2,000 万トンにとどまっている。その結果、りん鉱石の輸入量が増加した。

世界のりん鉱石生産量は 2024 年に比べて 5%増加すると推定される。生産量の多い順では、中国、モロッコ、アメリカ、ロシアは引き続き主要生産国である。肥料に含まれる P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> の世界消費量は、2024 年の 4,710 万トンから 2025 年の 4,780 万トンに増加すると推定される。肥料に含まれる P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> の世界消費量は、2029 年までに 5,150 万トンに増加すると予測されている。成長の主たる地域はアジアと南米と見込まれている。

2025 年 10 月、アメリカ土地管理局はアイダホ州 Caribou 郡に新規りん鉱山の開発を承認した。この新たなりん鉱山は、今後 10 年以内に既存のりん鉱山が枯渇した際に取って代わることになる。

P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> に換算する世界のりん酸塩生産能力は、2025 年の 6,370 万トンから 2029 年に 7,170 万トンに増加すると予測される。ブラジル、カザフスタン、メキシコ、モロッコ、ロシアに進行しているいくつかのりん鉱石生産能力の拡張プロジェクトが 2028 年までに完成・稼働される予定である。また、カナダ、コンゴ (ブラザビル)、ギニアビサウ、セネガルに進行している重要な新規りん鉱石採掘プロジェクトは 2028 年以降に完成される予定である。

2025 年 11 月 7 日、アメリカの 2025 年版重要鉱物リストが連邦官報 (90 FR 50494) に掲載された。この 2025 年重要鉱物リストはまず、アメリカ地質調査所が刷新された方法論に基づき、2022 年に公表された前のリスト (87 FR 10381) に銅、鉛、カリウム、レニウム、ケイ素、銀を追加した。その後、エネルギー法の規定に従い、連邦官報 (90 FR 41591) に掲載されたアメリカの重要鉱物リスト案に対し、パブリックコメントと関係省庁から行った意見募集で得た意見に基づき、新リストにさらにホウ素、冶金用石炭、りん鉱石、ウランが追加された。

### 三、世界のりん鉱石採掘量と資源量

企業および政府の報告書に基づき、モロッコ、シリア、トルコの2024年生産量が大幅な修正された。また、オーストラリア、中国、ヨルダンの資源量も、企業および政府の報告書に基づき修正された。

表2. 世界のりん鉱石採掘量と商業採掘可能な資源量（万トン）

国名	2024年採掘量	2025年採掘量 <sup>*e</sup>	商業採掘可能資源量 <sup>*4</sup>
アメリカ	1,940	2,000	100,000
アルジェリア	200	200	220,000
オーストラリア	250	250	80,000 <sup>*5</sup>
ブラジル	530	550	160,000
中国 <sup>*6</sup>	10,500	11,000	340,000
エジプト	530	550	280,000
フィンランド	97.4	98	100,000
インド	170	150	3,100
イスラエル	238	240	6,000
ヨルダン	1,150	1,200	82,000
カザフスタン	170	190	26,000
メキシコ	36.5	45	3,000
モロッコ	3,530	3,600	5,000,000
ペルー	480	480	21,000
ロシア	1,440	1,400	240,000
サウジアラビア	1,000	1,000	100,000
セネガル	280	280	5,000
南アフリカ	222	220	150,000
シリア	80	80	25,000
トーゴ	156	160	3,000
チュニジア	328	330	250,000
トルコ	122	120	7,100
ウズベキスタン	95	95	10,000
ベトナム	300	300	3,000
その他の国	76.9	77	80,000
世界合計	23,900	25,000	7,300,000

世界のりん資源<sup>\*4</sup>：世界のりん鉱石資源量は、一部が鉱石の数量と品位のみ報告された。

りん鉱石の資源は主に海洋沈積岩として存在する。大規模な海洋沈積岩のりん鉱石資源はアフリカ北部、中東、中国、アメリカなどに発見された。また、火成岩として存在するりん鉱石資源は主にブラジル、カナダ、フィンランド、ロシア、南アフリカに発見された。ほかに、大規模なりん鉱石資源は大西洋と太平洋の大陸棚及び海底山脈に存在することも確認された。りん鉱石の世界的資源量は3,000億トンを超え、切迫したりん資源の不足がない。

**代用品：** りんは植物の必須多量元素で、農業にりんの代替品がない。

**注釈：**

\*e： 推定値

\*1： 見掛けの消費量 = 生産量 + 輸入量。なお、アメリカの生産者は2003年からりん鉱石の輸出を停止した。

\*2： すべての品位のりん鉱石販売価格の加重平均値。

\*3： 見かけの消費量に占める輸入の割合(%)は、輸入土業界在庫変動の調整として定義される。

\*4： 数字の出所は付録Cを参照してください。

\*5： オーストラリアの資源量は、合同鉱石埋蔵量委員会に準拠すれば、約1億2000万トンである。

\*6： 中国国家统计局によって報告された大型鉱山のための生産データである。

米国地質調査所、鉱物商品の概要、2026年2月